

エンジン部品(ウォーターセパレータ)の定期点検について

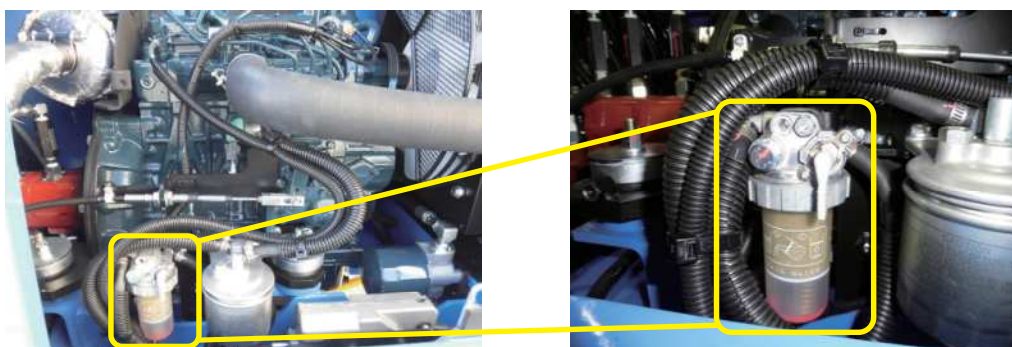
自走式高所作業車に搭載しているエンジン部品において、長期間の使用による振動や劣化によりウォーターセパレータの接手部に緩みが発生し、燃料漏れが発生するなどの事例が報告されています。

ウォーターセパレータは定期的に点検・水抜き（沈殿物の排出）・交換が必要です。

また、使用環境や使用条件等により、交換時期に達する前に不具合が発生する場合がありますので、定期点検により異常があった場合は、直ちに交換してください。

＜点検要領＞

- ・接手部(圧入orねじ込み)やホース挿し込み部にガタツキや緩みがないことを確認する。
- ・部品周辺に燃料漏れや燃料漏れの痕跡(濡れ、臭い)がないことを確認する。
- ・エレメント交換用ボディケースのネジ緩み、外れがないことを確認する。
- ・ホースにひび割れやホースクランプに緩みがないことを確認する。



＜点検ポイント＞



- ・上記の矢印のように軽く動かして、ガタツキや緩みがないことをチェックする。

＜点検時期＞

- ・始業前、月例、年次点検(特定自主検査)時
- ・点検要領、結果の措置について不明な点は、最寄りの弊社支店／営業所または指定サービス工場へお問合せ下さい。

＜交換時期＞

- ・「エレメント」400時間毎(定期交換部品)

メンテナンスのご用命はタダノ指定サービス工場へ



株式会社 タダノ CS企画部作成